

国際会長からのメッセージ

CICIAMS NEWSが注目されていると聞いて嬉しく思います。ニュースレターの復活を心からお祈り申し上げます。CICIAMS会員間、そして各国間のコミュニケーションは非常に重要です。ニュースレターの復活に尽力し、国際的なコミュニケーションと結束を維持してきた皆様に、心から感謝申し上げます。CICIAMSの各加盟協会および準会員の皆様が協力し、それぞれの活動やプログラムに関するニュースを事務局長にお届けくださることを願っております。これは会員間のより良い関係構築に間違いなく役立つでしょう。

思いやりとケアへの私たちの献身は、すべてのカトリックの看護師と助産師に、イエスが与えた使命に従うよう促しています。それは、無私の愛、ケア、そして思いやりをもって病人に仕えるという呼びかけです。これは、一人ひとりにとって挑戦的な呼びかけです。

CICIAMS の皆さんとすべての医療従事者の方々へ。

カトリック教会は常にプロライフ（生命尊重）を掲げ、人生の豊かさを擁護し、いかなる状況においても生命を擁護してきました。私たち医療従事者は、プロライフの聖職者として証しをするという、この上なく喜ばしい責務を担っています。

私たちの主イエスの癒しの働きに携わるすべての人が、主の足跡に従い、人生の充実を経験し、それをすべての人と分かち合うよう努めましょう。

神が私たち一人一人を祝福し、神の癒しの働きにおける思いやりと気遣いの道具としてくださいますように。

シスター・アン・ジョン RJM

CICIAMS国際会長

CICIAMS XIX世界会議 2014年総会

テーマ : 家族生活を守る : 看護師と助産師の役割と責任

会場 : パーセルハウス、オールハローズカレッジ、ダブリン9

主催 : アイルランドカトリック看護師ギルド

日程: 2013年9月23日 (火)~26日 (金)

9月23日 : 総会

2014年9月24日~26日: 会議

さらに詳しい情報は近日中に

公開される予定です。

アイルランド



ウェブ画像

良心とカトリックの健康 ケア専門家

「賢明な人は良心に耳を傾けると、神の声を聞くことができる」

(カトリック教会のカテキズム、1777)

イグナティウス・パーキンス兄弟、OP、Ph.D.、RN、FAAN、ANEF、FNYAM、FRSM

アキナス大学看護学部教授兼学部長、テネシー州ナッシュビル 37205 (2013年4月29日改訂)

医療サービスが充実している文化の中で暮らす私たちは、道徳的相対主義、人間の商品化、技術的必然性、医療サービスの収益性、功利主義的かつ非人間的な倫理パラダイムの浸透、医療費の高騰、無保険者や十分な保険に加入していない人々の増加などによって推進されている。

この文化においては、病人のみならず、病人を助け、癒すと約束した臨床医の双方において、道徳的良心の行使が深刻に損なわれています。現在の文化がもたらす主な影響は、人間の尊厳の侵害と自由の崩壊、臨床医の人間性の矮小化、そして医療における倫理的問題への回答を提供する上で、情報に基づいた良心の形成過程が軽視されていることです。

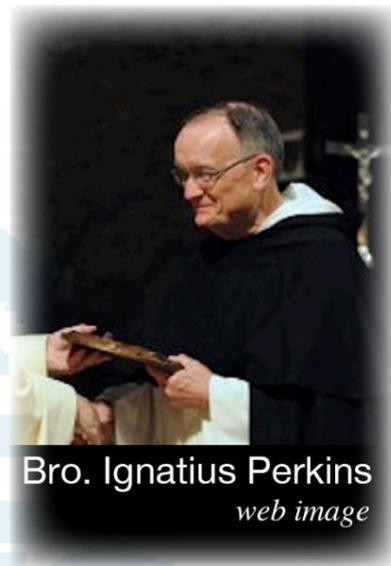
今日の医療において、臨床医の意思決定の自由を制限または侵害し、この役割を治療技術者の役割に委ねる法律の制定は、人間の尊厳をさらに損なうものである。

道徳的相対主義と抑制されない自律性に基づくこの深刻化するジレンマは、カトリックの臨床医をはじめとする善意の人々が、自然法の原則、信仰、科学、理性の融合による知見、そして医療上の意思決定の根拠となる道徳的評価、分析、判断のプロセスを適用することを妨げています。この文化の中では、人間の尊厳、自由、そして道徳的良心を形成し、十分な情報に基づいた良心に従って行動する権利と義務が、病人だけでなく、彼らのケアに携わるすべての人々から徐々に、そして場合によっては組織的に奪われつつあり、国家によってその権利が奪われています。その結果、宗教の自由という二つの権利、すなわち行動を強制されることからの自由と、道徳的良心に従って行動することを強制的に拘束されることからの自由が損なわれています。

教会は、情報に基づいた良心、教会の道徳的教え、そして医療従事者の良心と教会の教えの両方に反する義務的な処置への参加との関係について、私たちに何を教えているのでしょうか。あらゆる倫理的ジレンマを教会に解決させることはできませんが、教会には、この世界で病人や弱者をケアする臨床医の、情報に基づいた良心のみに基づいて行動するという自由と義務に対する脅威に対抗できる、何世紀にもわたる教えの権威があることは確かです。

教皇ヨハネ・パウロ2世は、1995年の回勅『いのちの福音』(Evangelium Vitae, EV)の中で、あらゆる行為を通じて生命を促進するというすべての人の義務において、このジレンマを鋭く浮き彫りにしています。これらの原則のいくつかは、教会の教えや道徳的良心の育成に反する強制的な治療プロトコルへの参加を拒否する医療従事者を支援する上で極めて重要です。『いのちの福音』に記されている重要な原則を簡潔に列挙すると(ただし、徹底的な暴露を意図したものではありません)、以下のようになります。

社会の将来と健全な民主主義の発展のためには、人間の真実そのものから流れ出る本質的で生来的な人間的価値と道徳的価値を再発見し、人間の尊厳を表現し、守ることが急務である。



Bro. Ignatius Perkins
web image

人格: いかなる個人も、いかなる多数派も、いかなる国家も、決して創造したり、変更したり、破壊したりすることはできず、ただ認め、尊重し、促進することしかできない価値観。

人生のいかなる領域においても、民法は良心に取って代わったり、その権限外の事柄に関する規範を強制したりすることはできない。

民法は、社会のすべての構成員が、人格に生得的に属する特定の基本的権利を尊重されることを確保しなければならない。これらの権利は、実定法によって承認され、保障されなければならない。これらの権利の中で、第一かつ根本的なのは、すべての罪のない人間の、侵すことのできない生存権である。

公的機関は、禁止されればより深刻な危害を引き起こすようなことを止めないという選択をすることは時々できるが、生存権のような基本的な権利を無視することで他人に対して犯罪を引き起こされることを、たとえその人が社会の構成員の大多数であったとしても、個人の権利として正当化することは決してできない。

人権を認めることを拒否したり、人権を侵害する行為を行ったりする政府は、その義務を果たさないばかりか、その法令にはまったく拘束力がなくなるであろう。

権威は道徳秩序の前提であり、神に由来する。したがって、道徳秩序、ひいては神の意志に反して制定された法律や布告は、良心に拘束力を持たない。

聖トマス・アクィナスは次のように教えています。「人間の法は、正しい理性に従い、したがって永遠の法に由来する限りにおいて法である。しかし、法が理性に反する時、それは不当な法と呼ばれる。しかし、この場合、それはもはや法ではなく、暴力行為となる。」人間が作るあらゆる法は、自然法に由来する限りにおいて法と呼ぶことができる。もしそれが何らかの形で自然法に反するならば、それは真の法ではなく、むしろ法の墮落である。

法的な義務が臨床医の道徳的良心の行使を制限し、人間の尊厳と自由を脅かす文化の中で、カトリックの医療専門家は道徳的に、また職業的にどのように行動すべきでしょうか?以下の原則は、医療専門家の道徳的行動の指針として提示されています。

医療従事者が、他者のケアにおいて義務付けられた非倫理的な法律を無視するという決断に直面したとき：

ケアを求める人の尊厳と自由を尊重し保護することを保証し、また、医療従事者が患者を助け、癒すという約束に応えるため、教会の教えや医療従事者の道徳的原則に反する可能性のある治療を希望する人を、決して見捨ててはならない。医療従事者の道徳的行動を規定する倫理的原則を患者に説明することで、患者は信頼の基盤となる人間の尊厳の根幹と、医療従事者が患者の前で交わした約束をより深く理解することができる。この特定の臨床的出会いにおいて、医療従事者は患者の良心や教会の教えに反する治療や紹介に応じる必要はなく、患者の内在的尊厳を肯定し続ける。

医療従事者は社会の一員として、道徳的な共同体として協力し、自分自身も含めたすべての人、特に病人、弱者、それらの介護者などの尊厳と自由を侵害する既存の立法上の命令を排除し、またはそれによってもたらされる危害を制限する義務があり、自然法と教会の道徳的教えに基づいて適切に形成された良心に従って行動する義務がある。

本質的に不当な法律、例えば中絶、安楽死、医師による自殺ほう助、妊娠中絶のための薬の処方、倫理的研究プロトコルへの連邦税の使用を認める法律などの場合、それらに従うこと、あるいはそのような法律を支持するプロパガンダ運動に参加したり、投票したりすることは、決して合法ではありません。そのような法律に従うことは良心上の義務ではなく、むしろ良心的兵役拒否によってそれらに反対する重大かつ明確な義務があるのです。(EV, n. 73)

医療従事者（そしてすべてのキリスト教徒と善意の人々）は、たとえ民法で認められていたとしても、神の法に反する行為に正式に協力しないという、重大な良心の義務を負っています。道徳的観点から言えば、悪に正式に協力することは決して許されません (EV, 73)。そのような行為は、

他者の自由の尊重を主張したり、民法がそれを許可または要求しているという事実を主張したりすることによって、協力を正当化することは決してできない。

実際、各個人は自分が個人的に行う行為に対して道徳的責任を負っており、誰もこの責任から逃れることはできず、この責任に基づいてすべての人が神自身によって裁かれるのです（ローマ 2:6、14-17 参照）。

要約すると、「生命の福音」は、自然法と教会の道徳的教えに反する法的義務による医療処置の決定に直面している医療専門家に、以下の追加原則を提示しています。

不正行為への関与を拒否することは、道徳的義務であるだけでなく、基本的人権でもあります。そうでなければ、人間は人間の尊厳と直接両立しない行為を強いられ、真善への志向にその本質と目的を見出す人間の自由そのものが、根本的に損なわれることとなります。したがって、問題となっているのは、まさにそのようにして民法によって認められ、保護されるべき、本質的な権利です。この意味で、医師、医療従事者、そして病院、診療所、療養施設の管理者には、生命に反するこれらの行為に関する協議、準備、そして実行の段階への関与を拒否する機会が保障されるべきです。良心的兵役拒否に訴える者は、法的罰則だけでなく、法的、懲戒的、財政的、そして社会的に及ぼすあらゆる悪影響からも保護されなければなりません。

プロ用飛行機（74番）。

カトリック教会のカテキズムに述べられているように、道徳的良心は人の心に宿り、適切な時に善を行い悪を避けるよう命じます。また、特定の選択を判断し、善を承認し悪を非難します。人間が惹かれる至高の善に関して、道徳的良心は真理の權威を証しし、戒律を受け入れます。賢明な人は良心に耳を傾けると、神の声を聞くことができます。人間の尊厳と自由を促進することに尽力する医療専門家として、私たちは良心に耳を傾け、そしてよく形成された良心に基づいて行動するという使命をこれからも果たしてまいりましょう。

1 ミッチェル, LA (2013). 宗教の自由に関する道徳的主張. *Ethics & Medics*, Vol. 38(3), p1.

推奨される読み物:

Libreria Editrice Vaticana (1997). *カトリック教会のカテキズム*. ワシントンD.C.; 米国カトリック司教協議会 & Libreria Editrice Vaticana (3回目のバチカン).

ヨハネ・パウロ2世 (1995年) 『*回勅いのちの福音*』 (Evangelium Vitae) ボストン : Pauline Books and Media

ラッツィンガー, J. カーディナル (2007). 『*良心について*』 サンフランシスコ : 国立カトリック生命倫理センター、イグナティウス出版。

ラッツィンガー, J. カーディナル (2005年) 『*激動の時代の価値観*』 サンフランシスコ : イグナティウス・プレス

米国カトリック司教会議。

(2007年) 『*忠実な良心の形成*』

市民権。ワシントン : 米国カトリック司教会議。



家族委員会

ケニアの2012年の看護師組合の会員である、家族委員会の議長に選出されたタンガ夫人。この委員会には、シンガポールのカトリック看護師組合のバツィ・リム氏とニルマラ氏、ザンビアのカトリック看護師組合のイマシク氏、ナイジェリアのカトリック看護師組合のドナトゥス・アクパン氏が参加している。

タンガ夫人は、多くの加盟協会が家族問題に関わっていることを認識していますが、より国際的な代表性を持つグループを結成したいと考えています。この重要な委員会の活動に貢献したいとお考えのCICIAMS会員、特にヨーロッパおよびパンアメリカン地域の会員は、各国の会長にご連絡ください。会長はCICIAMSの担当地域会長に連絡いたします。



CICIAMS倫理委員会

倫理委員会は

シカゴ2012年、ドナトゥス・アクパン氏が議長を務めました。ナイジェリア・カトリック看護師ギルド会員であるアクパン氏は、同年6月にザンビアのルサカで開催された総会でこの役職に選出されました。アクパン氏は直ちに委員会の設立に着手しました。他の委員は、マレーシア・カトリック看護師ギルド会員のジェーン・ブクアン氏がアジア地域代表、CICIAMS国際教会顧問代理を務めるトーマス・ネアンOFM神父がパンアメリカン地域代表です。委員会は小規模ではありますが、電子的に問題なく業務を遂行しています。

以下は、アクパン氏が昨年1月に執行委員会に提出した報告書の抜粋です。

活動

委員会は、割り当てられた機能を遂行するための第一歩として、必要に応じて修正を加えることを目的として、現在のCICIAMS倫理規定の見直しから始めることを決定しました。

見直しが完了すると、更新版が執行委員会と総会に提出され、承認されます。

委員会は、各地域の代表者を通じて各地域からの意見も得る必要があります。倫理的問題は地域によって異なる場合があるため、これは必要不可欠なものとなっています。

第二に、委員会は、教皇庁医療従事者評議会が現在、医療従事者憲章の見直しを予定していることを認識しています。この憲章は医療従事者であるCI-CIAMS会員にも影響を与えるため、CICIAMS倫理委員会は、教皇庁医療従事者評議会によるこの憲章の発表をおそらく今年後半に待つことを決定しました。これにより、改訂された憲章の条項が、教会の保健奉仕活動における利害関係者である私たちにも影響を与えるため、改訂された倫理規定に組み込むことができるからです。

第三に、委員会は、CICIAMS加盟国が国家レベルで倫理委員会を設置することを望んでいます。これらの委員会は倫理問題を各地域の代表者に報告し、代表者はそれをCICIAMS倫理委員会レベルに持ち込みます。

委員会で取り上げてほしい地域的な問題がありましたら、お住まいの地域のCICIAMS地域会長を通じてアクパン氏までご連絡ください。執行委員会メンバー全員の連絡先はwww.ciciams.orgでご覧いただけます。

水銀



助産師委員会

CICIAMS助産師委員会委員長

この委員会は、ナイジェリア・カトリック看護師ギルド協会の会員であるEvelyne Bertram Ngimbudziさんです。

その目的は次のとおりです。

教会の道徳的、社会的教えに基づき、CICIAMSの使命に従って

声明、助産師協会の目的

委員会の任務は次のとおりです。

- 受胎から死に至るまで人間の生命を守る

- 若者が貞潔な生活を送れるように助ける

- 自然な家族計画の方法を推進する - HIVの母子感染の予防に社会を支援する。

この重要な委員会の活動に貢献したいと希望する、特にアジア、ヨーロッパ、および汎アメリカ地域のCICIAMS会員は、各国の会長に知らせてください。会長がCI-CIAMSの関連地域会長に連絡します。



クレッシェンド

ベルギー出身のアンマリー・ヴラエミンク氏は、CICIAMSを代表してクレッシェンドの理事会に出席しています。彼女は年に2回、パリで開催される会議に出席しています。

クレッシェンドとは何ですか？

クレッシェンドは、人間的かつキリスト教的な高齢化のための世界的ネットワークであり、2001年にパリで設立されました。設立のきっかけは、貧しい人々の小姉妹会と国際カトリック機構の作業部会「サードエイジ」でした。彼らは、「教会と世界における高齢者の尊厳と使命」（教皇庁信徒評議会、1998年10月）と「国連高齢者原則」（1991年）に感銘を受けました。

クレッシェンドの使命は、高齢者と共に、そして高齢者のために、あらゆる年齢層にとってより人間的な社会を築くことです。人生を通して、特にキリスト教的な家族観と世代間の連帯といった精神的な価値観がますます重要になっていることを認識しています。神の計画によれば、すべての人間は誕生の瞬間から最後のため息まで、成長する生命である、ということを経験するべきです。これをクレッシェンドの根本理念としています。

Crescendo の目標:

水銀

新準会員

グループ

CICIAMSは、スペインのカディスにあるヌエストラ・セニョーラ・デ・サルス・インファームルム（Nuestra Señora de Salus Infirmorum de Cadiz）を準会員として歓迎いたします。同校の会員申請は、1月の理事会で承認されました。同校は、忠実な会員でありサルス・インファームルムの創設者でもあったディ・マリア・デ・マダリアガ・イ・アロンソ氏（1905年 - 2001年）を通じて、CICIAMSと長年にわたる関係を築いてきました。多くのCICIAMS会員は、彼女のことを懐かしく思い出し、現在の世代の会員と知り合えることを楽しみにしています。

様々な分野やテーマにおいて、国際機関、国内機関、非政府組織（NGO）間の創造的かつ双方向のつながりを刺激することにより、人間とキリスト教の高齢化を促進する。

聖書的人間観に触発され、高齢化の肯定的なイメージを投影し、存在のあらゆる段階における人間の尊厳を促進し、擁護します。

収益性や経済的効用の基準を下げることなく、高齢者を社会生活に参加させること

国際、国内、地方レベルで行動します。

CICIAMSを含む15の団体が執行委員会のメンバーです。最近の会合では、クレッシェンドの活動の方向性を中心に多くの議論が行われました。文明社会はますます個人主義的になっていることが認識されました。祖父母はもはや家族と同居せず、高齢者施設に入居するケースが増えています。社会にどのような変化があろうとも、クレッシェンドは人間とキリスト教徒の高齢化に関する世界的な使命を維持し、守ることを誓っています。



協会の再開

サービス・ド・ラ・ヴィ、コートジボワール

CICIAMSは、イースターにこの会員協会が地域レベルで再編されたことを知り、大変嬉しく思っています。会員の皆様には、今後お会いできるのを楽しみにしております。心より歓迎申し上げます。



イザベル・ウィルソン、CICIAMS代表
夫人 世界保健機関（WHO）は、2013年1月21日から26日までジュネーブで開催された第132回執行理事会に出席しました。

初日はDi-からの報告でした。
総長マーガレット・チャン博士は、

彼女は、WHOの活動の背景を特徴づける課題と、改革プロセスで取り組むべき問題について概説した。そして、これらの課題は大きく、ますます普遍的なものになりつつあるが、克服できないものではないと付け加えた。

12月初旬、1億人目のアフリカ人が、新しい結合型ワクチンによって風土病性髄膜炎から守られました。これは、ブルキナファソでワクチンが導入されてからわずか2年で達成された、驚異的な成果です。10カ国でこのワクチンが導入され、A型髄膜炎の症例数は劇的に減少しました。事務局長は、より手頃な価格になり、結核の症例数と死亡者数の近年の減少につながった、70カ国以上で使用されている強力な新しい診断ツールについて語りました。

HIV/AIDS に関する科学的進歩と 10 年を超える運用経験を組み合わせることで、より多くの人々に低コストでより良いサービスを提供することができます。

より安全で強力な抗レトロウイルス療法が、現在、世界の最貧国でも利用可能になっています。

インドでポリオの最後の症例が報告されたのは2011年1月13日であり、これは同国が2年以上ポリオ感染のない状態にあることを意味します。アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国では、依然としてポリオが常在しています。世界的根絶は、

パキスタンでポリオ予防接種中に9人のボランティアが死亡したにもかかわらず、この取り組みは継続されている。ワクチン。

ウィルソン夫人は可能な限り多くのセッションに出席しました。その中には次のようなセッションもありました。

熱帯病の予防、制御、排除および根絶

障害というテーマについて、入手可能な最良の科学的根拠に基づく初の世界報告書は歓迎されました。この報告書は、障害のある人々が直面する多くの障壁は回避可能であり、障害に伴う不利益は克服可能であることを示しています。

2012年10月から2013年3月にかけて実施された、健康関連のミレニアム開発目標のモニタリング - 健康に関する世界協議。2013年1月までに106カ国が回答した。この協議プロセスの目的は、得られた教訓と2015年以降の健康の捉え方に関する提言を明らかにする文書を作成することである。

女性と子供のための救命物資に関する委員会の勧告の実施に関する議論と討論。

WHOの再編成には丸一日以上が費やされた。

ウィルソン夫人は、対外関係担当官のジョセフィン・マツモト氏から、WHOとのCICIAMSプロジェクトパートナーシップを発展させるために、CICIAMSが非政府組織としてあと1年間存続することを推奨されたと知らされました。